



TITLE:

天象

AUTHOR(S):

CITATION:

天象. 天界 1932, 12(136): 275-278

ISSUE DATE:

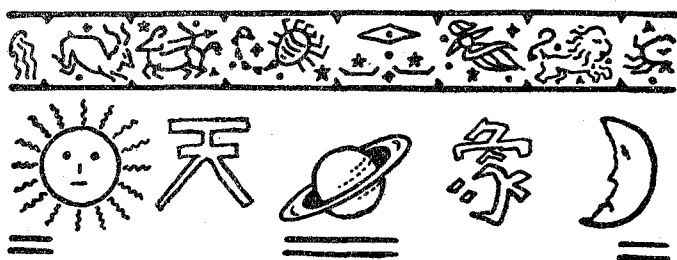
1932-07-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161992>

RIGHT:

一九三三年



八月

I.—太陽と月(天空の明暗)

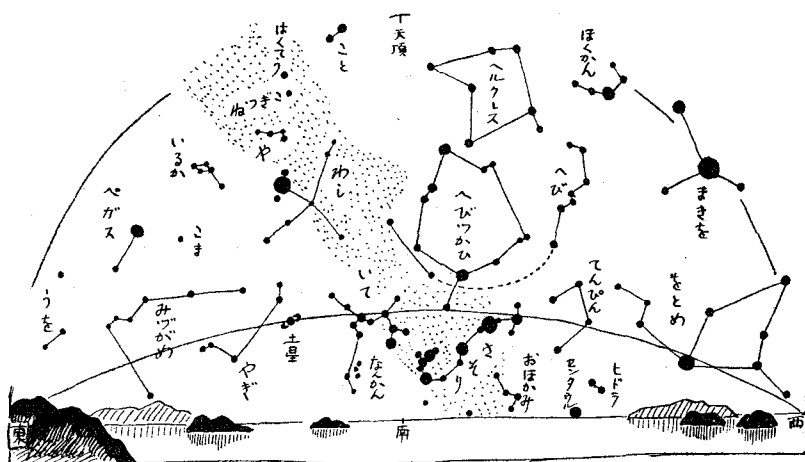
日付	日出	星座	日没	月齢	月出	星座	月没		月の相
1月	時分 5 06	かに	7 0	27.7	時分 3 21	双子	時分 18 29	●新月	2日午後 6時42分
6土	5 09	かに	6 55	3.2	7 52	乙女	21 07		
11木	5 13	しし	6 50	8.2	14 53	蠍	—	●上弦	9日午後 4時40分
16火	5 17	しゝ	6 45	13.2	18 53	山羊	04 46	○満月	16日午後 4時42分
21日	5 21	しゝ	6 39	18.2	20 57	魚	09 49		
26金	5 25	しゝ	6 32	23.2	—	牛	14 43	●下弦	24日午後 4時21分
31水	5 28	しゝ	6 26	28.2	4 25	獅子	18 11		

II.—8月31日の皆既食

日本中央標準時では9月1日午前4時16分50秒、日本では全く見る事が出来ない、食を見る地方は北米大陸とグリーンランドの全部、アジアの東端(カムチャツカ以東)、南米北部を含む諸地方である、又皆既線は先づシベリヤの北端チエリユスキ岬附近から始まり北氷洋を横断、カナダ北邊の諸島をおそひ、プーシヤ半島に上陸、一旦ハドソン灣に出で次いでラブラドア半島の根元を縦走して、モントリオール、クエベク間に於いて聖ローレンス河を越え、合衆國のヴェモント、ニューハンプシヤ、メイン三州をかすめて、大西洋上に終る、皆既線の東西の幅員は約150 軒の範圍である、日本からの観測隊として東京天文臺の及川、野附、二氏が派遣される事になり6月30日既に出發された。

III.—遊星と太陽 (○順行中 ●逆行中)

月始めの赤經順	星座	距離	等級	附記
● 1 土 星	やぎ	13.5	+0.4	午後十一時頃南中 太陽に近く觀望に適せず
○ 2 海王星	しゝ	46.7	+7.8	
● 3 水 星	しゝ	.95	+1.8	
○ 4 木 星	しゝ	9.6	-1.2	
○ 5 太 陽	かに			



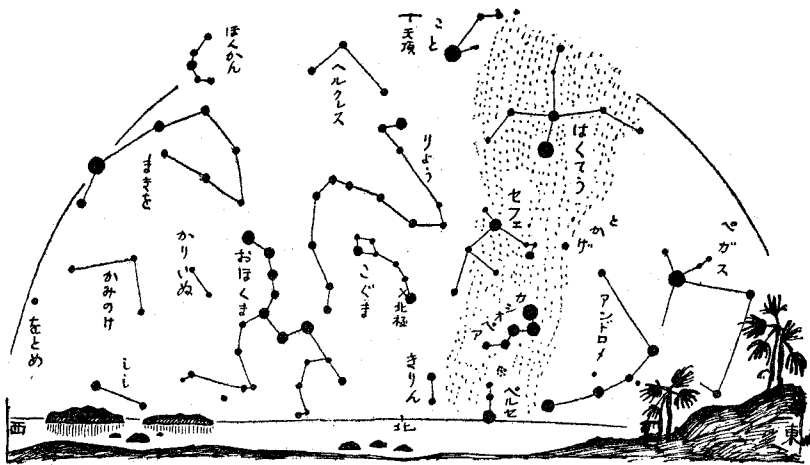
八月の南天

○ 6 冥王星	ふたご	[60]	[+15]	
○ 7 金星	ふたご	.7	-4.2	暁の明星
○ 8 火星	ふたご	3.6	+1.6	
● 9 天王星	うを	29.3	-6.1	

月末の赤経順	星 座	距離 格料	等級	附 記
● 1 土 星	や ぎ	13.6	+0.5	午後九時半頃南中
○ 2 海王星	し し	46.7	+7.8	太陽に近く観望に適せず
○ 3 木 星	し ゃ	9.6	-1.2	
4 太 陽	し ゃ			
○ 5 水 星	し ゃ	1.1	+1.2	
○ 6 冥王星	ふたご	[60.0]	[+15]	
○ 7 金星	ふたご	.9	-4.1	暁の明星
○ 8 火星	ふたご	3.0	+1.6	
● 9 天王星	う を	29.3	+6.1	

IV.—注意すべき天象

5日 金星最大光輝	27日 木星合
14日 土星(北・ $3^{\circ}32'$)と月との接近	28日 火星(南 $4^{\circ}4'$)と月との接近
17日 水星内合	31日 海王星合



八月の北天

天界百景 [11—18]

36 Oph. [蛇つかひ座36番星] X VII 10, S26°30' : 連星, 二個の六等星, 4.72(1924)

39 Oph. [蛇つかひ座39番星] X VII 13, S24°10' : 5 $\frac{1}{2}$, 6 : 10.76 ; 橙黄色と青玉色

ξ Sco. [蝸 座 ク シ 星] X IV 00, S11°10' : 三重星 : 5.5.7 ;

相互の距離1888年に1 $\frac{1}{2}$ と7 $\frac{1}{2}$, 1907年には近い方の組は0.2まで接近した.

α Sco. [蝸 座 ア 星] X VI 34, S26°15' : Antares 星, 熱紅色の一等星. 光度7等の緑色の伴星を持つてゐるが主星の猛烈な光輝の爲に小望遠鏡には入らない. 支那名大火, 心宿の主星である.

M. 20 [射手座メシエ20番] X VII 57, S23°00' : 有名な「三裂星霧」

M. 8 [射手座メシエ8番] X VII 59, S24°20' : 見事な星團. この邊りの星野の素晴しさ.

α Lyr. [琴 座 ア 星] X VIII 34, N38°40' : Vega 星. これは全天第二番の輝星である. 52 $\frac{1}{2}$ 離れた所に光度10等の伴星をもつてゐる.

M. 57 [琴 座 メシエ57番] X VIII 51, N32°55' : βとγ星の間にある「環状星霧」. 中心に寫真光度12.5等の星がある. 併しこれは眼視的には極めて微光な星である.

天象小文

星座を覚える七五調——

3. 星の櫓の灯は消えて
ほし やぐら ひ き

闇に立ちたる望遠鏡
やみ た とほめがね

大地の眠うちひらき
だいの まなこ

星の群々 疑視めつゝ
ほし むれむれ み つ

奇しきみ空の 秘事を
く そら ひめごと

理智の焰に 圓座せる
りち ほのほ まどゐ

かの若人に 語るなり
わかうと かた

獵犬 髪
れう けん かみのけ

鴉 に
からす

小熊よ 龍よ
こぐま りよう

北の冠
きた かんむり

狼 定規
おほかみ でう ぎ

天頂高き
てんでうたか

蛇蛇遺ひの
へびへびつみ

毒鉤かさず
どくこう

乙女ぼし
おとめ

低きセンタウル
ひく

牧人よ
ぼく じん

蛇 天秤
へび てん びん

祭壇座
さい たん ざ

ヘルクレス

巨人像
きよ じん ぞう

蝎 星
さそり せい

4. 曉にも近き山々は
あけ ちか

峽間々々の鶏聲を
はざま はざま とりこゑ

夢幻に聴きゐたり
ゆめまぼろしき

人界遠く神寂びし
じんかいとほ かみ さ

只天上の餐宴こそ
だいてんじよう うたげ

我がともからの悦びぞ
わ よろこ

伶人の琴
れいじん こと

銀河閃めく
ぎんが きら

南 冠
みなみ かんむり

ケベウス 白鳥
けべうす はくてう

海豚に駒に
いる か こま

顯微鏡持つ
げんびきよう も

蜥蜴 ベガソス
どか げ

南の魚に
みなみ うを

矢に鷲座
や おしざ

楯 射手座
たて い て ぎ

望 遠 鏡
とほ め がね

小 狐 座
こ きつね ざ

山羊のほし
や ぎ

印 度 人
いん ど じん

水 瓶 座
みづ びん ざ

鶴 星 座
つる せい ざ